

# 成田市のゴミ処理量のまとめ

## 成田市 ゴミ処理の推移

(市ホームページ公表の数値など、市民でも容易に入手できる数値を基に作成しました。「―」部分は、公表されていない、あるいはまだ作成されていない等の数値のため、入手できなかった数値を示しています。)

		平成23年度	……	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1	清掃工場建設時に市が算出した1日あたりのごみ処理量(t/日)	160.3	……	157.3	157.8	153.8	147.5	147.5
2	市が毎年度策定するゴミ処理計画で見込んだ1日あたりのごみ処理量(t/日)	―	……	―	162.7	164.2	166.2	163.0
3	実際に清掃工場で処理された1日あたりのごみ処理量(t/日)	―	……	157.3	162.3	162.6	150.7	―
4	外部委託で処理されたごみ量を加えた1日あたりのごみ処理量(t/日)	―	……	166.3	173.9	174.0	165.8	―

**1** 「清掃工場建設時に市が算出した1日あたりのごみ処理量(t/日)」とは？  
 成田市が新たに清掃工場を建設するにあたって算出した、1日あたりのごみの処理量です。平成23年度をピークに、以後処理量は減っていく見込みでした。つまり、1日160.3tのごみを処理できる清掃工場を建設すれば、成田市は何の問題もなくごみを処理できると判断したのです。(赤欄)

**2** 「市が毎年度策定するゴミ処理計画で見込んだ1日あたりのごみ処理量(t/日)」とは？  
 成田市が策定したゴミ処理計画にある1日あたりのごみの計画処理量です。市町村は毎年度、ごみ処理に関する計画を策定し、それを市民に公表しなくてはなりません。成田市も計画を策定し、市ホームページで公表しています。これを見ると、平成27年度から、160.3tを超えるごみを処理する計画となっています。つまり計画段階ですでに、清掃工場で処理できない量を処理する計画してしまっているのです。(黄色欄)

**3** 「実際に清掃工場で処理された1日あたりのごみ処理量(t/日)」はどのくらい？  
 新しい清掃工場が稼働した平成24年度から、清掃工場の1日あたりのごみ処理量160.3tを大幅に超えるごみを処理しています。平成29年度になってようやく、成田市の1日あたりのごみ処理上限量160.3トンを下回りましたが(緑部分)、それは外部委託をしたからに過ぎないので、これを加えれば以前計画量を上回っています。(青部分の平成29年度欄)

**4** 「外部委託で処理されたごみ量を加えた1日あたりのごみ処理量(t/日)」とは？  
 清掃工場で処理できなかったため外部へ委託して処理したごみ量を加えたものです。外部委託の始まった平成26年度から、いずれの数値も2欄の計画量を上回っているばかりか、成田市の1日当りのごみ処理上限量160.3トンをも上回っています。(青色部分)

表では「1日あたり」としていますが、**実は清掃工場は1年間365日のフル稼働ではない**のです。市によると、工場のメンテナンスを行うため**工場を休止する日が85日間必要**なため、実際に清掃工場が**稼働する日は280日**となるというのです。

### 清掃工場は正しくメンテナンスを実施できているのでしょうか？

#### 市が公表した清掃工場の炉停止期間

H25		H26		H27		H28		H29	
1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉
44	25	48	42	42	23	47	38	57	66

※上記の資料はわかりやすく図解したものになります。数字の根拠を含め、本会議一般質問で実際に使用した資料はこちらからご覧いただけます！



この表の通り、メンテナンスに必要な85日間を確保できたことが一度もありません。平成27年の故障は必然だったのでは…。



# WAVE Vol.47



「ゴミの有料化」が市民の知らないところですでに始まっているという事実。

## 雨宮しんご 成田市議会議員

### 成田富里いずみ清掃工場ってどんな施設？

旧いずみ清掃工場は、老朽化に伴い建て替えを行い、成田富里いずみ清掃工場として今から6年前、平成24年10月に供用を開始しました。

#### 成田富里いずみ清掃工場

- ・炉型式 ガス化溶融炉(シャフト式)
- ・処理能力 212トン/日(106トン÷24時間×2炉)

#### 総事業費

99億4442万3千円で建設されました。

内訳
・国庫支出金26億7574万円
・地方債34億4550万円
・富里市負担金13億4633万4千円
・成田市一般会計24億7684万9千円

#### 委託契約

99億7千万円で20年間の維持管理業務を委託しています。受託者は施設建設を担った事業者と新設した特別目的会社「成田富里環境マネジメント(株)」です。



まだ6年しか経っていないんだね！



#### ガス化溶融炉シャフト式は夢のゴミ処理施設？

「ごみ」は完全燃焼、ごみ焼却残渣は再資源化可能なスラグに分解処理！

- 発生するガス  
完全燃焼されたガスは、窒素酸化物、ダイオキシン等の有害物質類を除去し、クリーンなガスとして煙突より排気
- スラグ  
高温燃焼熱で溶融されたスラグはアスファルト材料等の土木資材へ再資源化

このように、ガス化溶融炉を有する成田富里いずみ清掃工場は、ごみから資源を生み出すことができる「夢のゴミ処理施設」と言われていたのでは…

# 稼働直後から 処理能力を超えるゴミが搬入され、 わずか3年で焼却炉事故が発生！



本来はこのような状態はずなのにこんなにゴミの山がすごいとは…



清掃工場には、運用開始直後から市の計画以上のゴミが搬入されて来たため、メンテナンス用として確保していた85日/年の運転休日も休まずに炉を回し続けました。(裏面参照ください。)

このことが  
起因してか？

平成27年に運用開始からわずか3年足らずで炉が故障し、稼働が停止するという状況となりました。



※平成27年6月定例会議で論陣！  
「成田富里いずみ清掃工場の稼働停止トラブル」

## 現実との乖離。 原因は施設設計ミス？ 計画ミス？ それとも…

市は計画以上のゴミが搬入されたため過大運転を強いることで急場を凌いできましたが、事故の発生により、この手段も頓挫せざるを得なくなりました。

そこで市は  
次善の策として

「民間事業者への  
ゴミ処理外部委託」  
を採用しました。

これは、成田富里いずみ清掃工場だけでは、日常発生するゴミ処理を消化できないとの判断によるものです。この外部委託費用は約1億円/年で、当然のことながら市税負担となっています。

## 原因はなんだったのか…

6年前のスタート時から計画焼却量をオーバーしていたことから、施設規模の設計ミスやごみ搬入量の予測ミスなどが原因と考えられます。



## ゴミ量が減らないのは意識の低い市民が払う当然のツケなのか？

市の答弁 年間計画処理量が当初予測をオーバーした理由としてあげたこと5つ。

- ①景気の好転等による物流の増加
- ②学校の新設
- ③大型店舗などの新設
- ④各種行事・イベント開催に伴う観光客の増加
- ⑤ゴミ分別の徹底が図られていない

ですが、①～④は市長が推進する政策から想定できた事項です。

問題は⑤なんです！

市民のモラルが低いから…  
とも受け取れる答弁です。

市の指摘のように、  
本当に市民のモラルは  
低いのでしょうか？

## 一人一日当りのゴミの排出量

平成18年度 実績1,175グラム  
平成28年度 実績1,104グラム

市民の努力で100g抑制されています！

この通り、市民はこの10年間でゴミを抑制していることがわかります！

補足しますが、市の計画では平成29年度の人口を15万人と見込んでゴミ量を算出していました。  
実際の市の人口は13万人…。

計画よりも2万人少ないにもかかわらず、  
ゴミが溢れていることになりました。

## 今後も外部委託処理は続く… ～ゴミの有料化が市民の知らないところですでに始まっている～

成田市では、ゴミの減量化のために有料化を検討しています。

ですが、既に実施している外部委託自体が有料化であることを認識すべしと指摘しました。

- 平成26年度から平成29年度までの4年間で約6億5300万円。
- 平成30年度の予定経費を含めると約7億5千万円。

(事故や定期修繕なる名目で発注されたゴミ処理外部委託の合計額です)

これだけの金額があれば、  
どのような政策に有効に  
投じることができたでしょうか？

市はゴミ減量化のため、新たに「有料化を検討しています」。  
ですが、この状況のとおり、すでにゴミは有料化されているのです！

## 市は具体的な検討と実現可能な見直しをすすめるべきです

まず施設設計のミス、計画のミス、そして将来予測の見誤り等を認めることから、「ゴミ処理外部委託という新たな税金支出」を市民にお願いすることはできないと私は考えています。そこで、私が市に提案したのは以下の通りです。

- ①当初計画以上の税金を支出してゴミ処理をしている現状(焼却能力を超える分のゴミ処理を外部委託をしていること)を市民にお知らせすべき。
- ②当初計画に限りなく寄せていく案を市は再度検討し、具体的に明示すべき。
- ③今のゴミ処理外部委託が一番合理的な処理方法なのか再検討すべき。
- ④ゴミの一時貯留ピット建設などでの対応可否や、現状よりコスト低減を図る策の検討をすべき。

引き続き問題意識を持ちながら成田市の廃棄物処理行政について精査し、適切なゴミ処理行政が行われるよう声を上げてまいります。

